

			EZ-WIN総合評価シート			23.11.19 (日) 京都11R G1マイルCS 芝1600m外C 3歳上定量 15:40														指数				
間隔	総合評価点数	予想印	枠番	馬番	馬名	性別	負担重量	予想人気	相対指数	血統傾向評価	最終調教評価	馬喰調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	脚質傾向評価	マイニング	対戦型
10	40	×	1	1	栗)ソウルラッシュ	牡5	58	4	C		D		4,4	13,6	5,7	50	113	44	J. モ	池江泰		A	4	5
3	21		1	2	栗)ピーアストニッシド	牡4	58	15					3,10	13,3	2,13	11	###	0	和田竜	飯田雄	TR	B	9	9
17	18		2	3	栗)ダノンスコーピオン	牡4	58	16			C+	B	16,6	6,11	6,13	2	25	0	団野大	安田陸			12	16
6	26		2	4	美)エエヤン	牡3	57	14		△	B		4,7	8,9	4,8	5	196	0	M. デ	伊藤大	R	A	15	11
6	31	★	3	5	栗)ジャスティンカフェ	牡5	58	10		注			12,2	15,1	9,3	10	82	5	坂井瑠	安田翔		B	7	4
21	38	◎	3	6	栗)ダノンザキッド	牡5	58	11	B	注		A	5,12	海外	4,5	20	210	5	北村友	安田陸	展	A	5	7
6	64	▲	4	7	栗)エルトンパローズ	牡3	57	6	B	△	C+	AA	5,5	3,2	4,2	17	108	13	西村淳	杉山晴		A	6	2
4	40		4	8	美)ソーヴァリアント	牡5	58	3		血		A	8,4	9,4	2,14	67	137	50	池添謙	大竹			10	10
6	67	△	5	9	美)シュネルマイスター	牡5	58	1	A	血		B	9,3	16,1	11,1	100	145	29	C. ル	手塚貴	展	B	1	1
4	31		5	10	栗)マテンロウオリオン	牡4	58	8		注		B	6,6	17,3	5,8	20	82	44	横山典	昆貢			8	15
24	80	○	6	11	栗)セリフォス	牡4	58	2	A	血		A	4,6	海外	14,1	50	103	50	川田将	中内田		A	2	3
4	45	×	6	12	美)レッドモンレーヴ	牡4	58	7	B	注			11,1	13,5	12,2	50	113	44	横山和	蛸名正		B	3	8
14	37		7	13	栗)セルバーグ	牡4	58	13	A		D	A	1,16	1,7	5,11	0	25	0	松山弘	鈴木孝			14	12
2	12		7	14	栗)バスラットレオン	牡5	58	12		注	D		地方	海外	地方	22	124	9	鮫島克	矢作芳			16	13
4	28		8	15	美)イルーシヴパンサー	牡5	58	9					5,7	12,8	5,6	100	230	44	岩田望	久保田	展	A	13	14
4	39		8	16	栗)ナミュール	牡4	56	5	A	注			8,2	15,14	10,6	12	49	44	R. △	高野友			11	6

### 【レースの傾向】

京都開催のマイルCSは、高速決着になりにくいレース。

そのため、米国型血統が生み出す軽いスピードや持続力よりも、欧州的な持久力を活かして中団より前で競馬出来るタイプが有利になりやすい傾向がございます。

特に欧州型ノーザンダンサー系の血が重要で、そのなかでも、デインヒルの血を持つ馬は、毎年のように馬券に絡んでいただけでなく、リピーター血統のひとつにも数えられます。

今年のメンバーで、デインヒルの血を4L系統内に持っているのは2頭のみ。

その内の1頭、ナミュールは叩き2走目が鬼門ローテで、マイルG1では常に凡走を繰り返しておりますので、今回は、もう1頭のデインヒル持ちから。

### 【予想見解】

◎6番ダノンザキッド

父:ジャスタウェイ(Pサンデー系)

父母父:米ニークティク系

母父:欧デインヒル系

祖母父:欧エタン系

22年2着、21年3着のリピーター。

関西圏で行われたレースで馬券圏外は宝塚記念のみ。

他は全て馬券に絡む堅実さを誇っております。

父のジャスタウェイは4歳の秋天で優勝、5歳でG1を2勝、  
ジャパンカップで2着と、いきなりスーパーホースに  
成長した馬で、ハーツクライ産駒晩成説はジャスタウェイが  
創り出した定説となっております。

本馬は、出世レースの東スポ2歳Sの勝ち馬であり、  
すでにG1ホープフルSを勝ってはおりますが、  
このあたりで「もう一華」があっても驚けません。

ここまでナメられた人気なら、  
積極的に大阪杯3着の2匹目のドジョウを狙います。

○11番セリフォス

父:ダイワメジャー(Pサンデー系)

父母父:欧ノーザンテースト

母父:欧ブラッシンググルーム系

祖母父:欧ヌレイエフ系

4L系統に3ラインの欧州血統で、ノーザンダンサー系が2本。

このレースを勝つのにふさわしい配合馬と申せましょう。

(今年の勝ち馬)

ただ、ダイワメジャー産駒が、近年の京都開催の当レースでは不振が続いており、気に掛かる場所ではあります。

しかしながら、先週のエリ女でもそうでしたが、雨後の京都は良馬場発表でも表層路盤が掘れる馬場で、外差しが間に合わない状況になる可能性がございます。

そうなれば、昨年と同じように強敵シュネルマイスターが実力を発揮しきれない場面もあり得るだろうと考えてこちらを上を取る事になりました。

▲7番エルトンバローズ

父:ディープブリランテ

父母父:欧ネヴァーバンド系  
母父:ブライアンズタイム(欧ロベルト系)  
祖母父:米ボールドルーラー系  
牝系ファミリーにはベガを筆頭に、  
ダービー馬アドマイヤベガの他マイルG1馬が3頭。  
血筋としてはG1でも見劣らない格を持っております。

前走ではソングラインとシュネルマイスターを抑えて優勝。

ここで勝つには、もう少し欧ノーザンダンサー系の血が欲しい印象ですが、  
上位争いに加わる可能性が極めて高い1頭だと判断しております。

また、主戦の西村Jは新装京都1600m名人で、  
複勝率71.4% 複回率234%  
このところ、めきめきと頭角を現しており、  
昨日の東スポ杯2歳Sでも8人気を2着に持ってきました。

人馬共に勢いがあり、上位争いは疑いにくいところ。

★5番ジャスティンカフェ  
父:エピファネイア(欧ロベルト系)  
父母父:スペシャルウィーク(Tサンデー系)

母父:ワークフォース(欧キングマンボ系)  
祖母父:サンデーサイレンス  
欧サドラーズウェルズの4×4クロスを保持

4L系統にノーザンダンサー系は持ちませんが  
サドラーズウェルズのクロスを持っており、  
また、欧州色が濃い配合馬ですので、  
要注意血統馬と考えるべきかも知れません。

キャリア16戦の内、13戦で上り2位以内の  
末脚を發揮しており、昨年当レースでも上り2位で  
3着馬に0秒1差と惜しい競馬をしていました。  
ちなみに、この時は外が伸びる馬場で、  
内に潜り込んだ事が裏目に出ってしまう皮肉な結果でした。

馬場の有利なコース取りが上手い  
坂井瑠星Jへの乗り替りと、トップスピードに  
乗せやすい京都開催で更なる警戒を。

△9番シュネルマイスター  
父:キングマン(欧ダンチヒ系)  
父母父:欧ミスプロ系

母父:欧サドラーズ系

祖母父:欧グレイソヴリン系

母セリエンホルデは独オークス(2200m)優勝馬で、  
サリオス・サラキアの母サロミナとは従姉妹同士。

ドイツ牝系である事を考えますと

ベストな条件は直線が長い非根幹距離。

つまり、東京1800mがこの馬にとって最適コースと  
考えられますが、1800mにG1が存在しない日本では、  
東京か京都のマイルが最適であろうと考えます。

特に、エンジンの掛かりが遅いこの馬には、

3角から下って十分に加速できる新装京都1600mはベストな舞台。

前走はルメール殿には珍しく、進路を探してカニ走りと言う  
ロスがテンコ盛りのレースで3着に敗れましたが、  
普通に外を通れていれば、恐らく勝っておったのでしょよう。

ルメール殿が2戦続けて下手を売る事は無さそうで、  
路盤さえ良ければ勝ち負け濃厚な存在でございましょう。

【馬券】

EZ-WIN 推奨馬券  
馬連・3連複3頭ボックス  
7番・9番・11番

くまもん馬券  
3連複フォーメーション23点  
5・6-5・6・7・9・11-印全頭

馬連フォーメーション7点  
5・6-5・6・7・9・11